

## ■景域に含まれる支庁及び市町村

釧路支庁 釧路市・音別町・白糠町・釧路町・阿寒町・弟子屈町・標茶町・厚岸町・浜中町・鶴居村  
根室支庁 根室市・別海町・中標津町・標津町・羅臼町

## ■景域を構成する景観ゾーン

⑤知床半島沿岸湾岸景観ゾーン ⑥根室台地田園景観ゾーン ⑦根室台地南部湾岸景観ゾーン  
⑧阿寒南部田園景観ゾーン ⑨阿寒国立公園周辺自然景観ゾーン ⑩白糠丘陵南部湾岸景観ゾーン

## ■景域における現況

観点 要因・背景	自 然	田 園	ま ち	広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性)	北 国 ら し さ の 創 出 (そ の 他 ・ 活 動 等 )
<b>場所的要因</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○根釧川台地は、南東に緩やかに下る大きく傾斜地形で、河川によって彫り込まれた沢地のヒダをもつ大きな丘陵が連続している</li> <li>○太平洋沿岸部の海岸線は、温原、海跡湖、切り立った海岸段丘、入り組んだ海岸線等が変化に富んだ景観を形成している</li> <li>○豊かな海洋資源を背景とした漁業が盛んで、活気のある産業景観をつくり出している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○根釧台地では、緩やかな起伏の上に防風林により区画された牧草地が広がる</li> <li>○根釧台地では、極端に低い人口密度による散居型形態が見られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の中核都市としての釧路は、港湾のまち特有の雰囲気をもっている</li> <li>○太平洋沿岸部の海岸線では、海岸段丘上にまとまりの良い漁村集落が点在している</li> <li>○霧のまち釧路では、釧路川沿いに形成されたウォーターフロントは、新しい水辺風景をつくり出している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○根釧川台地は、南東に緩やかに下る大きく傾斜地形で、河川によって彫り込まれた沢地のヒダをもつ大きな丘陵が連続している</li> <li>○太平洋沿岸部の海岸線は、温原、海跡湖、切り立った海岸段丘、入り組んだ海岸線等が変化に富んだ景観を形成している</li> <li>○北方領土を望むことが出来る</li> </ul>	
<b>空間構成的要因</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○釧路川下流の雄大に広がる釧路湿原は、日本でも類を見ない独自の景観を形成している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大規模経営のスケールの大きな営農施設、特にジャイアントサイロはランドマークとなっている</li> <li>○釧路川、阿寒川流域の丘陵地では、大規模な牧草地が広がっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○中標津は、地域の振興中核地として、田園部に囲まれた市街地を形成している</li> <li>○根釧台地では、主要幹線道路を軸としてまとまりの良い農村集落や市街地が点在している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○根室湾は遠海漁業基地として賑わいがある</li> <li>○開陽台や多和平からの農地区画の眺望は雄大である</li> </ul>	
<b>人文的・社会的情景</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○知床半島部分には、険しい地形と厳しい気候の条件によって人を寄せ付けない原自然が残されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○パイロットファーム事業によって入植の進んだ地域では、整備された農道が大地の中に振り巡らされている</li> <li>○ボリュームのある奥深い耕地防風林は他地域との防風林とは異なる雰囲気をもつ</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○釧路川下流の釧路湿原は、日本でも類を見ない独自の景観を形成している</li> <li>○知床半島部分には、険しい地形と厳しい気候の条件によって人を寄せ付けない原自然が残されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○湿原保護の運動が展開されている</li> </ul>
<b>時間的歴史的情景</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○戦後開拓及び国策による新しい農村風景が生まれた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各地に先人の集落（コタン）が残っている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本の東端として日の出の景観は地域の特色をなしている</li> </ul>	
<b>典型的景観資源</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○阿寒国立公園（摩周湖・阿寒湖・屈斜路湖・雄阿寒岳・雌阿寒岳・阿寒富士・美幌峠・双湖台・硫黄山）</li> <li>○知床国立公園（羅臼岳・知床峠）</li> <li>○釧路湿原国立公園（塘路湖・宮島岬・岩保木・細岡）</li> <li>○厚岸道立自然公園（厚岸湖・火散布・霧多布湿原）</li> <li>○野付道立自然公園（風蓮湖・野付半島・流水）</li> <li>○標津川 ○武佐岳</li> <li>○釧路川 ○海部岳</li> <li>○阿寒川 ○藻琴山</li> <li>○浜中湾</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジャイアントサイロの遠景</li> <li>○波状性に広がる田園風景</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漁業のまち釧路</li> <li>○交通量の少ない直線道路</li> <li>○田園に囲まれた市街地中標津</li> <li>○漁港市街地根室</li> <li>○アイヌコタン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○玄関口としての役割を果たす拠点 ・釧路空港／中標津空港</li> <li>○広域軸としての役割を果たす沿道・沿線 ・JR 根室本線／JR 釧網本線 ・マリモ国道</li> <li>○スケールの大きな眺望を体験できる視点場 ・多和平／開陽台／釧路湿原展望台</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○産業港としての役割を果たす拠点 ・釧路港</li> </ul>

## ■景域の景観特性・課題・景観づくりの取り組み方向

観点 要因・背景	自然	田園	まち	広域湾岸景観・広域沿道景観・広域流域景観 (自然・田園・まちの関係性)	北國らしさの創出 (その他・活動等)
景域の景観特性	○知床、釧路湿原、阿寒などの国立公園が3つあり、道内でも生活空間の身近にある優れた自然を有する地域である	○根釧原野には、酪農を中心とする農地が広がり、防風林、農業施設が広大な空間にアクセントを加えている	○道東の玄関口となる釧路中標津はそれぞれに雄大な自然若しくは田園に囲まれた市街地である	○知床連山は、広域的なランドマークで優れた自然を有する聖域である ○雌・雄阿寒岳、摩周湖など原生的な自然是地域のシンボルとなっており、多くの観光客が訪れる	○開阳台、多平和などからは田園地帯を見渡し地域全体を一望できる展望点となっている ○太平洋沿岸地域は、海岸段丘の発展した地形、湿原、海跡湖が見られる
景観づくりの課題	○聖域としての知床、世界的に価値の高い湿原等、貴重な原生的自然の保全	○酪農中心の農村景観修景から営農形態の変化による影響への対応（パックサイレージの処理、ジャイアントサイロの保全活用、牛舎・バドックまわり、住宅周りの環境整備等々）	○雄大な自然を背景とした市街地景観の整備 ○幹線道路結節点に集中する集落景観整備	○沿道景観形成阻害要素・要因への対応、展望ポイントの保全と適切な整備 ○北方領土の島々を眺望する拠点周辺の修景	○雄大な眺望の視点場周辺の阻害要素・要因への対応 ○手つかずの原生的自然を堪能できる環境整備（ワイルドユースの視点）
景観づくりの取り組み方 向	○知床連山、釧路湿原など原生的な自然に対する利用区分を設定し、保全する	○根釧原野に広がる広大な酪農地帯において防風林、農家施設など周辺の環境をととのえる	○優れた自然が身近にある漁業基地の釧路、田園に囲まれ、空港がある中標津では地域の結節点として地域の顔になる市街地景観整備を行う	○阿寒湖、摩周湖、美幌峠、釧路湿原などを巡る広域的な観光ルートとしてマリモ国道の沿道景観づくりをすすめ、交流の軸として整備をすすめる	○雄大な田園風景を堪能できる景観整備として、多和平や開阳台など眺望拠点の保全を地域の共通のテーマとして景観づくりをすすめる ○太平洋沿岸に見られる海岸段丘、霧多布湿原、厚岸湖などの自然景観をまもり、活かしたマリンツーリズムに取り組む